

令和五年八月一日 信者心の道勉強会

神 示

この世は 運命実体で回っている

よって 運命の力を引き出せる人々^{もの}は

心守られ 生きがい多い人生を歩める

なれど 実体に引きずられる人々^{もの}は

心迷い 悩み・苦しむ人生が待っている

信者に申す

神示「真理」が 悔いなき人生を歩み抜く 知恵を教えている

「真理」で社会を見詰めるなれば 時代の正誤が分かる

「真理」を人生の支えに生きるなら

人間の歩むべき「正道」が見える

「真理」に生きること

人間は 社会に奉仕し 家族の人生を守って行ける

政治・経済が いかにかに社会を守る存在^{ちから}となれないか

時代を見れば判^{わか}る

人類が いかにかに歴史を学び深めても

あるべき「道」がつかめずにいる

人類が いかにかに医学・科学を 研究 分析しても

不思議が解明できずにいる

真理なき今日^{いま}の時代にのみ込まれずに

悔いなき人生を歩みきるため

神は使者を通し 「真理」を社会^よに示す

信者は 「教え」を人生の支えにすること

「正道」を歩み 開運人生を手にてできる